

【礼拝賛美】御手の中で

1 御手の中で

すべては変わる賛美に
わがゆく道を 導きたまえ
あなたの御手の中で

2

御手の中で

すべては変わる感謝に
わがゆく道に あらわしたまえ
あなたの御手のわざを

・ミモザ会例会・記念会 報告

29日はコロナ禍の4年間で召天された11名のミモザ会の姉妹方を偲ぶ記念会を行いました。葬儀を教会で行う事ができず、十分に地上でのお別れをすることができなかったケースがたくさんありました。しかしこのたび、一人ひとりの思い出に耳を傾けながら、共に教会生活を過ごした日々を思い返し、また、残された私たちが親しく交わりの時を持つことができるとても慰められました。関わるご家族も来会され、とてもうれしくなりました。出席者35名（ミモザ25、ダニエル4、オリーブ4、家族関係2）

・荻野牧師 玉川聖学院での特別授業の担当を無事に終えました。お祈りを感謝いたします。

【ご協力ください】有志ボランティアチームによる無料食品配布は、12/2(土)に次回の活動を予定しています。配布用の食品の寄付を受け付けています。

「もし彼らが思っているのだが、出て来た故郷だったなら、帰る機会があったでしょう。しかし実際には、彼らが憧れていたのは、もっと良い故郷、すなわち天の故郷でした。ですから神は、彼らの神と呼ばれることを恥となさいませんでした。神が彼らのために都を用意されたのです。」

へブル人への手紙 11章15、16節

あと一か月でアドベントを迎えます。アドベントから1年のサイクルが始まる教会暦では、アドベントの前は1年の締めくくりの時期です。その教会暦では、前の半年はクリスマス、イースターがあるためイエス様の生涯を扱い、ペンテコステ以降の半年では終末に向かう教会の働きに目を向けるように構成されています。ですから、教会暦の締めくくりの期間は、礼拝説教では終末・再臨について目を向ける時です。

へブル人の手紙は、困難な状況に身を置

いていたイスラエル人を励ますために書かれたと言われます。その中で、著者は信仰の父アブラハムの生涯を示しながら天の故郷について述べます。

アブラハムの生涯も波乱に満ちていました。高齢になってから神様に召されて生まれ故郷を旅立ち、この地を与えると神様が約束してくださったにも関わらず天幕生活を続けて旅人・寄留者として過ごしました。その間、家庭にも社会的にも様々な問題を抱えました。創世記が記すアブラハムは、悩

みと葛藤に満ち、時に人間の浅知恵で立ち回って失敗をする姿です。それでも彼は、後戻りすることなく神の約束を握って進みましました。そんな姿をへブル書の著者は、「彼らが憧れていたのは、もっと良い故郷、すなわち天の故郷でした」と解説します。

逆を言えば、アブラハムは神様の約束を待ち望んだからこそ、この世の荒波に屈することなく進んだということです。神の祝福、天の都という希望は、アブラハムにとって真っ暗な海を行く船に行く先を示す輝く灯台のような存在だったでしょう。光は、闇が深まるほどにその存在を明らかにし、闇を照らすように私たちに励まします。

今、時代は混沌としています。だからこそ、キリスト者に与えられている永遠のいのちの望みとその恵みをしっかりと見つめて進んでいきたいと思えます。(泰)

11月5日 聖日礼拝

第1礼拝 9時 荻野牧師 荻野し兄
第2礼拝 11時 吉田潔兄 高橋美姉

前奏
招詞 イザヤ書60章2節

会衆賛美 29
会衆賛美 御手の中で(歌詞は4面)

主の祈り 詩篇62篇1〜8節
交読 (旧約聖書 994頁)

礼拝祈禱
使徒信条

聖書朗読 ヘブル人への手紙 11章8〜16節

説教 (新約聖書 452頁)
天の故郷にあらがれて 荻野泰弘牧師

聖餐 (第2礼拝)

会衆賛美 聖歌513

献金 聖歌376

頌栄 聖歌376

祝詞 奏楽

報告 奏楽

感謝祈禱 奏楽

※第1礼拝は、礼拝後に聖餐式

【招詞(主の招きのことば)】

イザヤ書60章2節
「見よ、闇が地をおおっている。
暗黒が諸国の民を。しかし、あな
たの上には主が輝き、主の栄光が
あなたの上に現れる。」アーメン

【本日の予定】

■会堂清掃 第1・第2礼拝終了後
■小学科ホザナ礼拝 3階 11時

■バイブルカフェ

談話室 12時15分〜

■例会

ミモザ会 3階
オリーブ会 4階 牧師室

■創立90周年準備会
談話室 13時15分〜

【本日の礼拝奉仕者】

■第1礼拝
礼拝祈禱 司会者
聖書朗読 司会者
献金1階 司会者
献金祈禱 司会者
報告 司会者
受付 司会者
配信 配信チーム

■第2礼拝

礼拝祈禱 荻野泰弘
聖書朗読
献金1階
1階
2階
献金祈禱 司会者
報告 荻野牧師
会場 荻野牧師
受付

【次週の礼拝説教】

説教者 荻野牧師
聖書箇所 マタイの福音書
説教題 「子どもを招く
イエスさま」
19章13〜15節

【クリスマスに向かって】

■クリスマスの予定

3日 クリスマスコンサート

時間 開演 14時

音楽 コパン(堀井栄治兄・祥子姉)

10日 子どもクリスマス

時間 14時〜16時15分

対象 幼児、小学生

(幼児の参加は保護者同伴でお願い
いたします。)

24日 クリスマス礼拝

第1礼拝 9時

・オンライン配信あります

第2礼拝 11時

・特別賛美チームによる
賛美があります

イヴ燭火礼拝 16時半

・特別賛美チームによる
賛美があります

イヴ礼拝 20時

(聴くドラマ聖書でたどる
クリスマス)

■クリスマス特別賛美チーム

メンバー募集中!

《奉仕日》12月24日(日)

・第2礼拝

・イヴ燭火礼拝 16時半

《練習日》

| | |
|--------|----------|
| 11月19日 | 13時〜14時 |
| 12月17日 | 13時〜14時 |
| 12月24日 | 10時〜10時半 |

■クリスマスのチラシ 本日、お届け
しています。ご関係者を誘う、あ
るいは手元に置いて祈る、などな
ど、用いてください。

【今月のご案内】

■11月12日(日)

・児童祝福式

時間 第2礼拝後

ご希望の方は管理部または牧師ま
でお申し出ください。所定の申込用
紙は礼拝堂の受付にあります。

・『礼拝』についての学び

時間 13時半〜14時15分

場所 3階

担当 荻野牧師

■11月24日(金)〜26日(日)

オールシオン青年キャンプ

講師 朝岡勝師

(東京基督教大学理事長)

会場 奥多摩バイブルシャレー

オールシオンキャンプです。青年

たちの祝福をお祈りください。

■11月26日(日)

クリスマス飾り付け

時間 午後

礼拝堂のクリスマスツリー設置な
ど行います。人手が必要なのでご協
力をお願いします。